

活 動 報 告

会長（東部中学校 教頭） 小崎 洋之

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大による分散登校実施等、異例の年となりました。どの学校でも先の見通しがつかない中で奮闘の日々ではなかったかと思います。さらに、オンライン授業やタブレット端末の1人1台配付を生かした取組、オンラインでの各種研修会等、正に激動の1年でした。ようやく教頭会として活動らしい活動ができたのは11月に入ってからです。本教頭会の研修内容は予定も含めて次のとおりです。

1 第1回 熊本市中学校教頭研修会

日 時 令和3年11月18日（木）14時～16時40分

補完研修 令和3年12月 8日（水） 〃

会 場 京陵中学校清水が丘分校・清水が丘学園

出 席 33人（会員50人中）

内 容 開会・会長挨拶 14:00～14:08

研修1 京陵中学清水が丘分校 施設見学・授業参観

酒井教頭 分校概要説明 生徒指導・支援について講話

研修2 講話

演題 「教頭の働き方改革について」

講師 熊本市中学校教頭会 会長 小崎 洋之

諸連絡・閉会 16:35～16:40

2 第2回 熊本市中学校教頭研修会（予定）

日 時 令和4年3月11日（金）15時～16時30分

会 場 未定

内 容 開会・会長挨拶 15:00～15:05

研修 15:05～16:05

演題 「(未定)」

講師 熊本市立中学校長会からの（予定）

情報交換 16:05～16:25

諸連絡・閉会 16:25～16:30

活動に快くご理解とご協力いただきました京陵中学校分校清水が丘学園の皆様ならびに校長会に心より感謝申し上げます。続いて、研究分野は次のとおりです。

本年度は、武蔵中学校 幸恵教頭先生が「学校における情報化を図る取組の工夫と教頭の役割」という研究主題で、ICT を効果的に活用した学校運営について本市の取組を交えて報告していただきました。県教頭会研究発表会がコロナ禍のため、オンラインでの発表となりました。

令和4年度は、託麻中学校 武藤教頭先生が「何のために」を問いながら進める持続可能な働き方の実現と教頭の役割—時間対効果とチームワーク向上の取組を通して—という研究主題で、県大会にて発表していただきます。また、令和4年度の全国岩手（盛岡）大会でも、武藤教頭先生に同タイトルで、教頭会を代表し発表していただくことになっています。よろしくお願いいたします。

以上で熊本市の活動報告を終わります。お読みいただきありがとうございました。